丸山地区

防災計画

**地震等各種災害から命を守る**





**平成29年3月**

1

全体の流れ

　　　　　　災害時の避難行動、避難所開設・運営の流れは次のとおりです。

地震の場合

風水害の場合

気象情報に注意

声をかけ合って早めの避難

（災害時避難所等へ）

身の安全を確保

避難行動

※自宅待機の場合もあり

災害対策

本部役員

情報収集

消火活動

救出・救護

地域で決められた集合場所等へ

避難所運営組織担当

想定されてい

る役割分担の

方を中心に、

協力して活動

丸　山

小学校

災害対策

本　部

立上げ

・災害情報

　の収集

・初期初動対応

・区本部と連携

災害時避難所

の開設

●施設が開いている場合

　施設管理者と

協力して開設

避難所開設・運営

●施設が閉まっている場合

　鍵管理者に

よって開錠　※

災害時避難所へ

避難

避難誘導

災害時避難所の避難者の

受入準備

・安全点検

・レイアウト等

避難者の受入

避難所運営

○運営体制づくり

　総務班、避難者管理班、情報班、

食料・物資班、救護班、衛生班

○各班別の役割で運営

避難所統廃合

避難所閉鎖

※開錠については、原則、避難所担当職員が行うが、不在や緊急の場合、地域の鍵管理者が開錠する。

2

避難行動

災害発生

災害発生

緊急速報メール（※）などによる災害発生情報

　○揺れが収まるまで安全確保

　○あわてて外に飛び出さない

　○ラジオやテレビ等で正確な

　　情報を得る

安全確保が

第一！

身の安全を確保



揺れが

収まったら

○家族の安否を確認

○避難に向けて、出口確保

○電気のブレーカーを落とす

○ガスの元栓を閉める

一緒にいる家族等の安全を確認

○声をかけ合って

　安否確認

10分

～

数時間

隣近所で声を

かけ合い

避難行動要支援者への避難支援も地域で配慮します！

身近なところでの確認が、“命を守り

合う”迅速な活動

につながる

助け合って地域の集合場所など近くの安全な場所へ

○お互いに助け合って

避難



○安否確認

○状況により、協力し

　合って救出・救護

※自宅の安全が確認できれば

帰宅する方もいます。

○できるだけまとまって

助け合って避難

※避難者は施設の安全が確認

　され、準備が整うまで校庭

等で待機

状況をみて災害時避難所へ避難

地域の集合場所

などで状況確認

・活動

！

地域で役割分担を想定しています

地域の集合場所と役割分担

（13町会）

|  |  |
| --- | --- |
| **やすらぎ天空館** | 避難想定町会［阿倍野筋第4丁目西町会］ |
|  | 責任者 |  |  |
| 消火活動 |  |  |
| 情報収集 |  |  |
| 救出・救護 |  |  |
| 避難誘導 |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **共立児童遊園** | 避難想定町会［共立通1丁目北、共立通1丁目南、共立通2丁目東、共立通2丁目西町会］ |
|  | 責任者 |  |  |
| 消火活動 |  |  |
| 情報収集 |  |  |
| 救出・救護 |  |  |
| 避難誘導 |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **ふれ愛丸山荘** | 避難想定町会［丸山通1丁目、丸山通2丁目町会］ |
|  | 責任者 |  |  |
| 消火活動 |  |  |
| 情報収集 |  |  |
| 救出・救護 |  |  |
| 避難誘導 |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **まつむし広場** | 避難想定町会［松虫通1丁目北、松虫通1丁目南町会］ |
|  | 責任者 |  |  |
| 消火活動 |  |  |
| 情報収集 |  |  |
| 救出・救護 |  |  |
| 避難誘導 |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **聖天山公園** | 避難想定町会［松虫通2丁目北、松虫通2丁目南、松虫通3丁目町会］ |
|  | 責任者 |  |  |
| 消火活動 |  |  |
| 情報収集 |  |  |
| 救出・救護 |  |  |
| 避難誘導 |  |  |

※阿倍野筋5丁目西町会は、直接丸山小学校へ避難。

※各担当者は個人情報保護のためホームページでは割愛いたします。



災害時は最寄りの安全な場所へ行くことが重要になります。想定町会以外の方が集まられることもあります。

避難時の流れ



●風水害の場合は？

○テレビ、ラジオ、インターネット等で気象庁から発表される警報・注意報や、区役所等からの避難に関する情報に注意します。

○台風が接近しているときや豪雨のときは、不要不急の外出はしないようにします。

気象情報に注意

むやみに外出

しない

○危険が予想される場合など

避難の呼びかけに注意して、

隣近所で声をかけ合って避難

声をかけ合って早めの避難

○できるだけまとまって災害時避難所等へ

○避難にあたって支援が必要な人の避難支援

災害時避難所等へ

避難の呼びかけに注意！

テレビ　ラジオ

小学校等に設置された

屋外スピーカー（同報

系防災行政無線）

気象情報に注意して、避難の呼びかけ（「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示

（緊急）」など）があった場合、声をかけ合って災害時避難所等へ避難します。

3

災害対策本部の立上げと災害時避難所開設・運営

ｗ

□　施設管理者等と

連携して災害時

避難所の開錠

□　施設の安全点検

３時間程度

が目安

災害対策

本部立上げ

[丸山小学校]

・災害情報

　の収集

・初期初動

対応

・区本部と

連携

災害時

避難所

･丸山小学校

･松虫中学校

･大阪キリスト教短期大学

･大谷中学校・

高等学校

の開設

＊学校の開校時間内は施設管理者が開放

＊開校時間外は避難所担当職員、施設管理者が開錠

＊避難所担当職員、施設管理者ともに不在で緊急の場合、

**地域の鍵管理者によって開錠**

数時間

～

1日



避難者の受入準備

□　備蓄倉庫の中から

**「災害時避難所**

**開設時用物品」**

を取り出し、準備

□　施設のレイアウト

づくり

！

地域で役割分担を想定

しています

避難者

の受入

□　避難者の受付

□　名簿作成

□　区災害対策本部

　　への報告

□　運営組織の設置

□　各班別の役割

　　実施

避難所

運　営

★備蓄倉庫の位置を確認しておきましょう！

24時間程度

が目安

※「緊急速報メール」は携帯電話事業者が無料で提供するサービスで、国や地方公共団体による災害・避難

情報等を、回線の混雑の影響なく、特定のエリア内の対応端末（携帯電話）に一斉に配信するもの